

平成 30 年度 すこやかメールマガジン 第 633 号【イクメン】2 月 21 日配信

先日、西和賀町で行われた「イクメン・イクボス講座」にてファザーリング・ジャパン東北 理事・岩手県代表 後藤 大平（ごとう だいへい）氏のお話を聞く機会に恵まれました。そこで、今回は「イクメン」についてお送りしたいと思います。

「イクメン」：自発的に育児参画している男性、自らも子育てを楽しんでいる男性。
2010 年に流行語になりましたが、みなさんの周りでは、「イクメン」が増えていると感じますか？

共働きの率が高く（10 位）、家事の総量が多い（8 位）岩手県。その岩手県の共働き世帯の家事シェア力は、全国 41 位。共働き子育て家庭の課題が調査からもうかがえます。（大和ハウス「家事シェア力調査」2018）

岩手県の家事関連時間は、

- ・夫のみ働く世帯・・・（妻 317 分）（夫 97 分）
- ・共働き世帯・・・（妻 292 分）（夫 100 分）

と家事が女性に重くのしかかっていることがわかります。（県民生活基本調査 30）

一方で男性が子育て・育児に参画するメリットは予想以上に多くあるといわれています。

- ・子：父への愛着・信頼が形成される。父から社会性や道徳性を学ぶ。
- ・妻：夫への信頼・愛情が増す。能力を社会で存分に発揮できる。
- ・夫：視野や人脈が広がり、コミュニケーション能力、仕事のマネジメント力が高まる。
- ・社会：労働力不足解消、出生率向上で少子化抑制、熟年離婚防止、地域力向上。

育児は、いつも変化するので「毎年が旬」なのだそうです。パパがその旬を逃してしまっているとしたら、パパや家族にも、社会にとっても、もったいないことですよ。

しかし、パパが家事育児に参画したくてもできない大きな障壁の一つが「長時間労働」の問題です。これを改善するには、「イクボス」が鍵になるとのこと。続きは、別の機会にお送りします。【Y】

【ご紹介】

天皇陛下御在位 30 年記念慶祝事業として、県内の施設で下記のような取組がなされます。

ご家族そろって足を運んでみてはいかがでしょうか？

＝★2 月 24 日（日）限定★県立博物館・県立美術館★入館料無料★＝

※詳しい内容については、各施設のホームページでご確認ください。

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索